

様式第 5 号（第 10 条関係）

パブリックコメント実施結果報告書  
【案件名：つくば市地域福祉計画（第 4 期）】

令和 3 年 3 月  
つくば市 保健福祉部 社会福祉課

## 意見集計結果

令和2年 11 月 27 日から 12 月 27 日までの間、つくば市地域福祉計画(第4期)(案)について、意見募集を行った結果、6人(団体を含む。)から 61 件の意見の提出がありました。これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数(団体を含む。)
直接持参	0人
郵便	0人
電子メール	1人
ファクシミリ	0人
電子申請	5人
合計	6人

## 意見の概要及び意見に対する市の考え方

### はじめに 1 計画策定の背景と趣旨 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「団塊の世代」の明確な定義が不明。	1件	「1 計画策定の背景と趣旨」では、国の情勢として、今後、後期高齢者が急速に増加することを表現するものであり、具体的な年齢については、P8「1 つくば市の現状」で明確にしています。
2	「制度の狭間にある人」とは何を指しているのかわからない。	1件	「1 計画策定の背景と趣旨」では、国の情勢を総括的に表現したものです。

はじめに 4 計画の期間 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	つくば市地域福祉計画は、なぜ5か年を計画期間としているのか。	1件	他の個別計画と調整が必要であることから、概ね5年とし3年で見直すことが適当と判断しました。

地域福祉をめぐる市の現状と課題 1 つくば市の現状 (3) 要介護等の認定状況 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「認定者数は今後も増加が見込まれ、令和4年度には8,154人になると推計されています」とあるが、どのような方法で「推計」されたのか。	1件	厚生労働省の地域包括ケア「見える化」システムにて、市内の年齢階層別人口や直近3年間の認定者数の推移等を基に推計しています。

地域福祉をめぐる市の現状と課題 1 つくば市の現状 (6) 避難行動要支援者と避難行動要支援希望者登録状況 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「つくば市の地域防災計画」をいつ策定されたのか明記されては。	1件	平成27年の改定で、避難行動要支援者について定義しましたが、その後も改定があり、標記が複雑になるため明記しません。

地域福祉をめぐる市の現状と課題 2 アンケート調査とヒアリング調査の結果にみる市民意識 災害時の避難の可否【障害福祉】 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「感染症を踏まえ推進することが重要」とあるが、「感染症」が何を指しているのかよく分からない。何らかの法律を指しているのであれば、わかりやすく明記されたい。	1件	現在、新型コロナウイルス感染症が流行していますが、今後も新たな感染症の発生も危惧されることから総称として「感染症」と明記しました。

地域福祉をめぐる市の現状と課題 2 アンケート調査とヒアリング調査  
の結果にみる市民意識 障害者が災害時に困ること【障害福祉】 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>災害避難ができるかは、絶えず状況が変化する中でのとっさの判断(想定したことがダメだった場合の対応、対処)、情報収集、デマかどうかの判断、適切な救助を呼べるか、などができるか? このように具体的に尋ねられたら障害者や高齢者でなくても大概はできないと思う。行政などリーダーとなる人は必要な資質。リーダー研修、サバイバル訓練が必要。この「できる」と答えた人は他に避難指示を出してくれる人がいて自分で移動することができるというぐらいの「避難できる」と捉えた方がいい。</p> <p>自分の家が火災になった場合、どこに身を寄せるかという判断や手配も「できる」のか?</p>	1件	<p>「障害者が災害時に困ること【障害福祉】」のグラフは、アンケート調査により、どのようなことに不安を感じているかを調査したものです。調査結果を踏まえ、計画策定に反映させています。</p> <p>また、地域の防災リーダーとしての防災士の育成を引き続き行っていきます。</p> <p>いただいた御意見については、今後の業務の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>避難時にすぐに常用の処方薬を何日分ももって避難できるか?</p> <p>周囲に見られているのではないかと、いろいろ聞かれているのではないかとという不安。体臭、物音、行動などが周囲に迷惑をかけた受け入れられなかったりしていないか不安になる、また自分の周りの音、視線などが気になる。</p>	1件	<p>災害時の避難について、障害の有無にかかわらず様々な不安や課題があると認識しています。</p> <p>いただいた御意見については、担当課とも連携し、今後の避難所運営に生かしていきます。</p>

<p>精神障害者の場合とくに精神安定剤が必要になってくる。(普段落ち着いている場合は精神安定剤の頓服までは貰っていない人でも、ストレスがかかると手足のしびれやソワソワ、におい、湿度、温度、光、音、風、色、模様、味、数字などに敏感になり気になってくる。イライラ、眠れない、物事を覚えられない、些細なことも不安、心配になる、記憶力の低下、認知力の低下、集中力の低下など)ひどくなると、通報されて長期入院させられるのではないかという強迫観念に襲われることもある。</p> <p>赤ちゃん、障害児がいる場合には避難先で迷惑をかけるかもしれないと思って避難所に行けないかもしれない。(例：熊本地震)</p> <p>避難所での車いす利用者のスロープ、トイレ、風呂問題。(例：熊本地震)</p> <p>指定避難所外避難者(配給も来ない、情報も入ってこない)</p> <p>説明なども一度で理解できない場合「さっきも説明したでしょ」などというトラブルや尿漏れなどの問題</p>		
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

地域福祉をめぐる市の現状と課題 4 計画策定に当たってのポイント について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「福祉、保健、医療も含めた横断的な支援体制の強化が必要である。」とあるが、「教育」も入れてはいかがだろうか。	1件	御指摘を踏まえ、修正します。

施策の展開 1 テーマ 「新しい公共」を創造する市民の育成に向けた教育・啓発 次世代の育成 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「新しい公共」が掲示されているが、一般市民の中にはこれを知らない人も多い。脚注等で意味を説明してはどうか。	1件	御指摘を踏まえ、修正します。

施策の展開 1 テーマ 「新しい公共」を創造する市民の育成に向けた教育・啓発 次世代の育成 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	小中学校・高校の児童生徒が、障害者や高齢者などの当事者から話を聞く機会を作ることを入れてほしい。	1件	御指摘を踏まえ、修正します。

施策の展開 1 テーマ 「新しい公共」を創造する市民の育成に向けた教育・啓発 差別禁止の意識啓発 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	障害者差別について市民が学べる機会を作ってほしい。	1件	令和2年度から、つくば市出前講座のメニューに「障害者差別解消法と合理的配慮」を新設しました。今後も障害者差別解消法について、十分に市民の理解が得られるよう、普及啓発に

			取り組んでいきます。
--	--	--	------------

施策の展開 2 テーマ 誰もが安心して相談できる仕組みづくり について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「市役所への遠隔手話通訳システム導入」を追加すること。	4件	具体的な計画については、事業ごとの個別計画で明記していきます。

施策の展開 2 テーマ 誰もが安心して相談できる仕組みづくり 各課総合相談の充実 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>高齢の障害者など複雑な障害者だと市役所に駆け込んでも、課が分かれているためたらいまわしになりかねない。</p> <p>また、障害者や高齢者で構成される世帯の場合、高齢一人暮らしや高齢世帯対象のサービスが受けられない。</p>	1件	御指摘のとおり個人や世帯が抱える問題は、複雑化・多様化が一層進んでいますが、今後も関係機関と情報共有しながら、支援機能を強化していきます。

施策の展開 3 テーマ 高齢者とその家族が地域で安心して暮らせるための活動支援 認知症高齢者等保護支援事業 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	位置情報端末は高齢者と児童、幼児や何か防犯など他のとも共通化してないと高齢者が持っているとな認知症だとわかるのが抵抗があり嫌がる。	1件	端末は小さく、お守りや靴の底に入るもので、他の人から見て持っていることが気付かないようになっています。

施策の展開 3 テーマ 市民の健康づくりのための活動の推進 について

て

	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>障害者スポーツや高齢者スポーツにもeスポーツの導入ができないか。</p>	1件	<p>市では、平成26年に「つくば市スポーツ推進計画」を策定し、「スポーツでつながるまちつくば」を基本理念として各種施策に取り組んでいます。計画の中で、子ども・高齢者・障害者・成人は4つの主体であり、それぞれに応じたスポーツ推進のために、関連する各課が具体的な取組を行っています。</p> <p>この中で、障害者がスポーツを楽しめる環境を充実させるため、障害者スポーツのサポーター育成を重要課題として事業を展開しています。</p> <p>このような状況で、現計画に、直ちにeスポーツを盛り込むことは困難ですが、いただいた御意見は、今後の参考にします。</p>
2	<p>スポーツ振興課、障害福祉課の障害者スポーツの推進で分かれているのはどうか。</p> <p>担当者連携、情報共有などはできているのか。</p>	1件	<p>「障害者スポーツの推進」については、スポーツ振興課、障害福祉課、共通の目標であり、それぞれの立場から事業に取り組んでいます。</p> <p>課毎の連携につきましては、各課の具体的な取組について進行管理表を作成し、情報共有を図っています。</p>



施策の展開 3 テーマ 地域で安心して子育てができる環境づくり について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「傾聴」と「協働」の鉤括弧には何か意味があるのか。引用したのであれば、出所を明記されるのが望ましい。	1件	ホームスタート事業は親の気持ちを受け止めて話を聴くこと（傾聴）や、親と一緒に家事や育児、外出などを行うこと（協働）が支援内容となり、それを端的に表すため鉤括弧を付しています。

施策の展開 3 テーマ 防災・防犯対策の充実 避難行動要支援者の救済の確立 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	防災・防犯対策の充実の施策名「避難行動要支援者の救済の確立」の具体的な事業名の中に「避難行動要支援者の個別避難計画の策定推進」を追加する。	4件	御指摘を踏まえ、修正します。

施策の展開 3 テーマ ユニバーサルデザインのまちづくり について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	富士市のユニバーサル条例のようなものやユニバーサル就労支援センターのようなものが必要。	1件	つくば市では、令和2年度から社会福祉課内に生活・自立サポートセンターを設置し、様々な要因により経済的に困窮している方の自立に向けた支援を行っています。 今後も複雑化する生活課題解決に対応できるよう支援体制の強化に取り組んでいきます。

施策の展開 3 テーマ ユニバーサルデザインのまちづくり バリアフリー化の推進 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「ユニバーサルデザインのまちづくり」の「バリアフリー化の推進」の中に「市内のバリアフリー化促進に関するマスタープラン策定」を追加してほしい。	3件	<p>地域福祉計画は、地域福祉に係る市の理念や方針をまとめたものです。</p> <p>具体的な計画については、各分野の個別計画において明記します。</p>
2	「ユニバーサルデザインのまちづくり」の「バリアフリー化の推進」の中に、「小中学校のバリアフリー改修を進める」と明記してください。	1件	<p>以前から、既存の小中学校のバリアフリー基準適合については、各学校の現状について十分に把握し、関係部署と連携しながら、段差解消、手摺設置、階段昇降機の設置など、必要に応じて段階的な整備を行うなどのバリアフリー化に努めているところです。</p> <p>今般、改正バリアフリー法において、既存の小中学校等の校舎についても、バリアフリー基準適合が努力義務として位置づけられたことから、児童生徒が安全かつ円滑に施設を利用する上で、障壁となるものを取り除くための方策等について十分に検討し、既存施設を含めた学校施設のバリアフリー化の取り組みに、より一層努めていきます。</p>

施策の展開 3 テーマ 移動手段の確保 福祉タクシー利用券の交付 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「タクシーを利用しない場合に他の交通手段の助成を選べる選択制とする」を追加する。	3件	「タクシーを利用しない場合は他の交通手段を選べる選択制とする」ことについては、現在事業内容を検討しています。具

			体的な計画については、事業ごとの個別計画で明記していきます。
--	--	--	--------------------------------

施策の展開 3 テーマ 移動手段の確保 公共交通の整備 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「福祉タクシー利用券」と同様、「利用促進に努め」てはいかがだろうか。	1件	御指摘を踏まえ、修正します。

施策の展開 3 テーマ 地域を基盤とする包括的支援の強化 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	「互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進します。」とあるが、「支え」が2回繰り返されており、意味がつかみにくい。	1件	分かりやすく修正します。

新型コロナウイルス感染症対策 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	新型コロナウイルス感染症対策について特に明記されていない。何らかの文言を付け足した方が良いのではないか。	1件	新型コロナウイルス感染症対策については、既存の制度の中で必要に応じ支援しています。 御指摘の内容を踏まえ、地域福祉計画に定めた個別施策と各個別計画の推進の際に参考にします。

外国人住民に対する支援 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	市内在住の外国人の中には、日本語能力や地域とのつながり等を要因として生活	1件	計画の基本目標「地域で支えあい、誰もが安心して自分らしく生きる福祉のまちづくり」の「誰

	<p>に困難を抱えている人もいる。外国人に対して支援を行う施策はあるか。もしあれば明記されたい。</p>		<p>もが」の中には、高齢者や障害者、子どもだけでなく、外国人も含めたつくば市に暮らすすべての人が含まれていることを踏まえ計画を実行していきます。</p> <p>また、御指摘を踏まえ、外国人への情報提供、相談窓口について「福祉情報の提供体制」及び「各課総合相談」の担当課を追加します。</p>
--	------------------------------------------------------	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

文章の表現 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>同じ単語の表記が異なる部分ある。長文で読みにくい文章がある。また、文章の意味が理解しがたい部分がある。</p>	9件	<p>言い回しを統一し、一般的に表現されている、理解しやすい適切な文言で記載するように修正します。</p>

誤字・脱字・句読点等のレイアウト について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>文章中の誤字、脱字、改行の訂正が必要な部分がある。また、句読点がなく長文で分かりにくい文章がある。</p>	13件	<p>御指摘を踏まえ、適切な文章及びレイアウトに修正します。</p>

パブリックコメントによらないものを含む

グラフの表示、単位の表示 について

	意見概要	意見数	市の考え方
1	<p>「パーミル」を使うのであれば、注釈でその意味を説明されるのが望ましい。</p>	1件	<p>御指摘を踏まえ、修正します。</p>
2	<p>P13 のグラフのみ下端が0から始まっていないが、数値のイメージについて誤解を招く可能性が高いと思われる</p>	1件	<p>御指摘を踏まえ、修正します。</p>

	る。		
3	障害者プランと同じグラフを使用しているが、精神障害者、知的障害、発達障害が記載されていない。	1件	アンケート結果は一例であり、具体的な内容については、障害者プランで記載していません。

修正の内容

地域福祉をめぐる市の現状と課題 1 つくば市の現状 (3) 要介護等の認定状況 について

修正前	修正後																												
<p>【要介護・要支援認定者数の推移】つくば市の要介護1～5及び要支援1～2の認定者数は、年々増加しています。令和元年度の認定者数は7,668人と、平成27年度からの4年間で700人増加しました。認定者数は今後も増加が見込まれ、令和4年度には8,154人になると推計されています。</p>	<p>【要介護・要支援認定者数の推移】つくば市の要介護1～5及び要支援1～2の認定者数は、年々増加しています。令和元年度の認定者数は7,668人と、平成27年度からの4年間で700人増加しました。認定者数は今後も増加が見込まれ、令和4年度には<u>8,323人</u>になると推計しています。</p>																												
<table border="1"> <caption>修正前の認定者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認定者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>6,968</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>7,088</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7,294</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7,613</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>7,668</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>8,154</td> </tr> </tbody> </table>	年度	認定者数 (人)	平成27年度	6,968	平成28年度	7,088	平成29年度	7,294	平成30年度	7,613	令和元年度	7,668	令和4年度	8,154	<table border="1"> <caption>修正後の認定者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>認定者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>6,968</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>7,088</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>7,294</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7,613</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>7,668</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>8,323</td> </tr> </tbody> </table>	年度	認定者数 (人)	平成27年度	6,968	平成28年度	7,088	平成29年度	7,294	平成30年度	7,613	令和元年度	7,668	令和4年度	8,323
年度	認定者数 (人)																												
平成27年度	6,968																												
平成28年度	7,088																												
平成29年度	7,294																												
平成30年度	7,613																												
令和元年度	7,668																												
令和4年度	8,154																												
年度	認定者数 (人)																												
平成27年度	6,968																												
平成28年度	7,088																												
平成29年度	7,294																												
平成30年度	7,613																												
令和元年度	7,668																												
令和4年度	8,323																												

パブリックコメントによるものではありませんが、数値を最新のものに修正しました。

地域福祉をめぐる市の現状と課題 4 計画策定に当たってのポイント について

修正前	修正後
従来の福祉の仕組みでの対応が難しい複雑化・多様化した生活課題が増加している。地域生活課題を抱える人やその家族等を包括的に支援していくための、福祉、保健、医療も含めた横断的な支援体制の強化が必要である。	従来の福祉の仕組みでの対応が難しい複雑化・多様化した生活課題が増加している。地域生活課題を抱える人やその家族等を包括的に支援していくための、福祉、保健、医療、 <u>教育</u> も含めた横断的な支援体制の強化が必要である。

施策の展開 1 テーマ 「新しい公共」を創造する市民の育成に向けた教育・啓発 次世代の育成 について

修正前	修正後
社会づくりを行政とともに行う市民や各種の団体、事業者などを育成するために、ノーマライゼーションや人権、男女共同参画などの社会づくりのための基礎的な考え方について、啓発や教育を行います。	社会づくりを行政とともに行う市民や各種の団体、事業者などを「 <u>新しい公共</u> 」とし、育成するために、ノーマライゼーションや人権、男女共同参画などの社会づくりのための基礎的な考え方について、啓発や教育を行います。

施策の展開 1 テーマ 「新しい公共」を創造する市民の育成に向けた教育・啓発 次世代の育成 について

修正前	修正後
<p>施策名：次世代の育成</p> <p>市内小中学校・高校の児童生徒を対象に、福祉やボランティア活動を体験する講座等を開催し、次世代の支え手を育成します。</p>	<p>施策名：次世代の育成</p> <p>市内小中学校・高校の児童生徒を対象に、福祉やボランティア活動を体験する講座等を開催し、次世代の支え手を育成します。また、<u>体験だけでなく 高齢者や障害者と触れ合う場を設け、直接、話を聞くことで、思いや生活・地域課題を知り、自分たちにできること等を考え理解を深めていきます。</u></p>

施策の展開 3 テーマ 市民の健康づくりのための活動の推進 について

修正前	修正後
<p>施策名：障害者スポーツの推進 障害者スポーツ人材の育成拠点を 目指し、必要な事業の実施に努めま す。 担当課：スポーツ振興課</p>	<p>施策名：障害者スポーツの推進 (スポーツ振興課、障害福祉課の 「障害者スポーツの推進」を合わせ、 1つの項目とします。)</p> <p>障害者スポーツ人材の育成拠点を 目指し、必要な事業の実施に努めま す。 県や各種団体が主催するイベント や講座の周知を行うとともに、障害 者運動教室等を開催することで、障 害者スポーツの普及に努めます。</p> <p>担当課：障害福祉課</p>

施策の展開 3 テーマ 地域で安心して子育てができる環境づくり について

修正前	修正後
<p>研修を受けた地域の子育て経験者 が、子育て支援の狭間で孤独しがちな 「子育てに強いストレスを感じて いる」等の親子の自立の促進を目的 に、週1回、2時間程度、概ね2～ 3か月継続訪問し、寄り添いながら 親の話を「傾聴」並びに家事及び育 児等を「協働」して行います。</p>	<p>研修を受けた地域の子育て経験者 が、<u>子育てにストレスや不安を感じ ている等の親子の自立促進を目的 に、週1回、2時間程度、概ね2～ 3か月継続訪問し、寄り添いながら 「傾聴」し、また家事及び育児等を 「協働」して行います。</u></p>

パブリックコメントによるものではありませんが、より分かりやすい内容とするため、記載内容を修正しました。

施策の展開 3 テーマ 防災・防犯対策の充実 避難行動要支援者の救済の確立 について

修正前	修正後
(具体的な事業名) 区会との連携、避難行動要支援者名簿の整備事業、福祉避難所整備事業	(具体的な事業名) 区会との連携、避難行動要支援者名簿の整備事業、 <u>避難行動要支援者の個別避難計画の策定推進</u> 、福祉避難所整備事業

施策の展開 3 テーマ 移動手段の確保 公共交通の整備 について

修正前	修正後
将来にわたり持続可能な公共交通体系を目指し、路線による役割分担や、需要や目的に応じた適切なサービスを提供し、利便性の高い公共交通網の構築を図ります。	将来にわたり持続可能な公共交通体系を目指し、路線による役割分担や、需要や目的に応じた適切なサービスの提供と利用促進に努め、利便性の高い公共交通網の構築を図ります。

施策の展開 3 テーマ 地域を基盤とする包括的支援の強化 について

修正前	修正後
互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進します。	互助を基本とした、 <u>地域で高齢者を支える</u> 体制づくりを推進します。

外国人住民に対する支援 について

【 施策の展開 2 テーマ 誰もが必要な情報を入手できる仕組みづくり 福祉情報の提供体制の充実 】 について

修正前	修正後
(施策名) 広報つくば・市ホームページ等を通じた福祉情報の提供体制の充実 社会福祉課 障害福祉課 高齢福祉課	(施策名) 広報つくば・市ホームページ等を通じた福祉情報の提供体制の充実 社会福祉課 障害福祉課 高齢福祉課

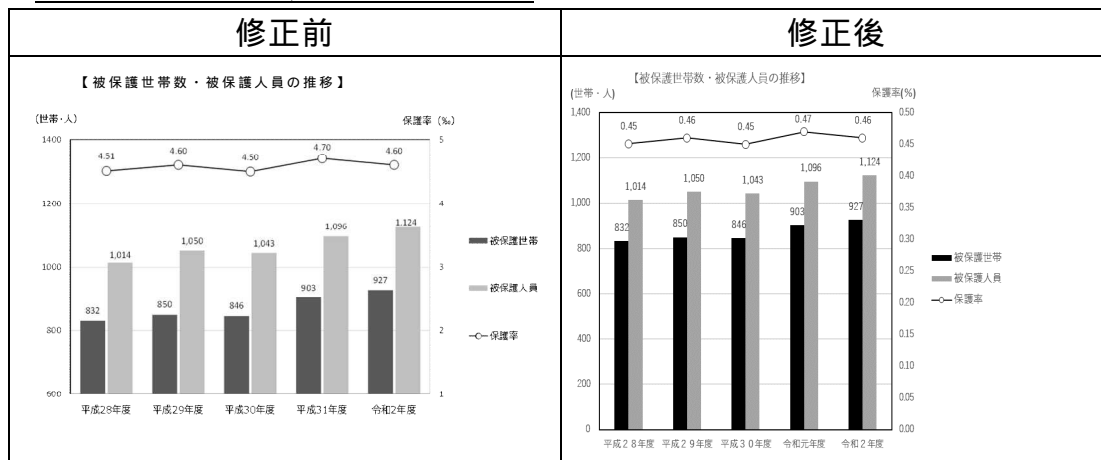


国民健康保険課 医療年金課 介護保険課 地域包括支援課 健康増進課 こども政策課 幼児保育課 こども育成課	国民健康保険課 医療年金課 介護保険課 地域包括支援課 健康増進課 こども政策課 幼児保育課 こども育成課 国際交流室
----------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

【 施策の展開 2 テーマ 誰もが安心して相談できる仕組みづくり 各課  
総合相談の充実】について

修正前	修正後
(施策名)各課総合相談の充実 社会福祉課 障害福祉課 高齢福祉課 国民健康保険課 医療年金課 介護保険課 健康増進課 子育て相談室 幼児保育課 こども育成課	(施策名)各課総合相談の充実 社会福祉課 障害福祉課 高齢福祉課 国民健康保険課 医療年金課 介護保険課 健康増進課 子育て相談室 幼児保育課 こども育成課 国際交流室

グラフの表示、単位の表示 について P13



表現の統一 について

修正前	修正後
目次・P6 5計画の策定方法 計画策定にあたって	計画策定に <u>当たって</u>
P2 1計画策定の背景と趣旨 減少をつづける	減少を <u>続ける</u>
P2 2地域福祉計画に関する国と 県の動向(1)国の動向 推進するにあたって	推進するに <u>当たって</u>
P2 2地域福祉計画に関する国と 県の動向(1)国の動向 共通して取組む	共通して <u>取り組む</u>
P15 2アンケート調査とヒアリン グ調査の結果にみる市民意識 策定にあたり	策定に <u>当たり</u>
P34 1計画の基本目標 「地域で <u>支えあい</u> 、誰もが安心して自 分らしく生きる福祉のまちづくり」 とします。 「地域で <u>支えあい</u> 」とは、住民と市 や福祉関係の事業者・団体が力を合 わせて地域社会の福祉課題の解決に 取り組む仕組みをつくり、共生のま	「地域で <u>支え合い</u> 、誰もが安心して自 分らしく生きる福祉のまちづくり」 とします。 「地域で <u>支え合い</u> 」とは、住民と市 や福祉関係の事業者・団体が力を合 わせて地域社会の福祉課題の解決に 取り組む仕組みをつくり、共生のま

ちづくりを実現させていくことです。	ちづくりを実現させていくことです。
P34 2計画の基本施策 基本施策1相互に支えあう地域共生のまちづくり	基本施策1相互に <u>支え合う</u> 地域共生のまちづくり
P35 3計画の体系図 人びとが近隣で支えあえる地域の創造	人びとが近隣で <u>支え合える</u> 地域の創造
P38 基本施策1相互に支え合う地域共生のまちづくり テーマ 人びとが近隣で支えあえる地域の創造	テーマ 人びとが近隣で <u>支え合える</u> 地域の創造
P42 テーマ 多様なサービス提供主体の参入促進 効果的な情報発信や団体のスキルアップや運営のための支援などをおこないません。	効果的な情報発信や団体のスキルアップや運営のための支援などを <u>行います。</u>
P45 テーマ 誰もが必要なサービスを効果的に受け取ることができる仕組みづくり きめ細かなケア会議による地域課題の発見と課題解決のための取り組みを進めるとともに、	きめ細かなケア会議による地域課題の発見と課題解決のための <u>取組</u> を進めるとともに、
P48 テーマ 生活困窮者等の自立に向けた生活支援の推進 学習支援や安心できる居場所の提供等を行う。	学習支援や安心できる居場所の提供等 <u>を行います。</u>
P48 テーマ 生活困窮者等の自立に向けた生活支援の推進 学習塾の利用にかかる経費の助成を行う。	学習塾の利用にかかる経費の助成を <u>行います。</u>
P57 1市民協働による計画の推進 取組み 取り組み	<u>取組</u> <u>取組</u>

パブリックコメントによるものではありませんが、語句を修正しました。

表現の修正 について

修正前	修正後
<p>P21 子育て情報の入手先【子ども子育て】 「インターネット」「学校・保育所・認定こども園」が60.0%となっています。</p>	<p>「インターネット」「学校・保育所・認定こども園」が60.0%<u>を超えています。</u></p>
<p>P24 成年後見制度の利用意向【高齢福祉】【障害福祉】 正しい情報を提供し、判断いただくことが重要となっています。</p>	<p><u>適切な情報を提供していくことが重要</u>となっています。</p>
<p>P25 健康への関心【健康】 反転は見られていません。</p>	<p>反転は<u>見られません。</u></p>
<p>P29 各関係機関へのヒアリングから見えてきた課題 地域福祉計画策定委員から、「ニーズ把握の方法として、各計画のアンケート調査のほか、福祉窓口の相談等も取り入れてはどうか」とのご意見をいただきました。 地域の福祉課題をより多く把握するため、市役所内各課の窓口及び地域包括支援センター、民生委員にヒアリングを行いました。</p>	<p>地域福祉計画策定委員からの、<u>「ニーズ把握の方法として、各計画のアンケート調査のほか、福祉窓口の相談等も取り入れてはどうか」との意見を踏まえ、</u>地域の福祉課題をより多く把握するため、市役所の各課窓口及び地域包括支援センター、民生委員にヒアリングを行いました。</p>
<p>P39 テーマ 「新しい公共」を創造する市民の育成に向けた教育・啓発 市内小中学校・高校の児童生徒を対象に、福祉やボランティア活動を体験する講座を開催し、学生等の次世代の支え手を育成します。また、体験だけでなく高齢者や障害者と触れ合う場を設け、直接、話を聞くことで、思いや生活・地域課題を知り、自分たちにできること等を考え理解を深めていきます。</p>	<p>市内小中学校・高校の児童生徒を対象に、福祉やボランティア活動を体験する講座等を開催し、<u>_____</u>次世代の支え手を育成します。また、体験だけでなく高齢者や障害者と触れ合う場を設け、直接、話を聞くことで、思いや生活・地域課題を知り、自分たちにできること等を考え理解を深めていきます。</p>

パブリックコメントによるものではありませんが、より分かりやすい表現とするため、語句を修正しました。